



A HAPPY NEW YEAR



●PHOTO ベニヤ本店

Beniya  
the leader in art of the past, present & future fashion

'84 BENIYA BRILLIANT MODE

## ファッションブルな 情景へのいざない。

崇高なまでに感性をきわだたせる

《ベニヤ》センシティブモダン——

選びぬかれたものだけがもつ

映いばかりのファッションブルな情景

隠された名品をゴージャスに、

あなたをときめかせるでしょう。



BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

- 本店 / 三宮センター街1丁目 ☎ 078(332)2135~6
- エルベ店 / センターブラザ1F ☎ 078(332)2829
- レノマショップ / 三宮センター街2丁目 ☎ 078(332)0788
- さんちか店 / さんちかレディースタウン ☎ 078(321)2678



TASAKI SHINJU



それでなくても、  
あなたの胸もとはまぶしいのに。

A  
HAPPY  
NEW  
YEAR



Sandohe

本店／元町1番街 TEL.078(331)4707  
スーヘルサンノヘ／元町1番街 TEL.078(321)1710  
トアロードサンノヘ／トアロード TEL.078(331)1952

スケッチブックから(61) ●ヨーロッパを描く ツールの市役所



Hustzmann, ツールの市役所

絵・西村 功

### 北野からマイクロ・カオスへの誘い 実験交流サロン

# シアター・ポシェット



#### ★シアター利用のご案内

- 曜日、時間／土、日曜日（通常）A.M10:00～P.M8:00
  - 費用／ホール設備の使用無料。光然、空調、管理費のみ実費
  - 付帯設備／グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー、テープレコーダー、マイク、映写機等
  - お申し込み、お問い合わせ

そごう前センター街東南角、さんちか入口

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F  
佐本小児歯科 佐本進 ☎331-6302~3

## 博物館で味わう 文化の香り…

特別展以外でもグレードの高い企画を次々と展開しています。じっくりとお楽しみ下さい。

	1月	2月	3月
南蛮美術館常設	芝居絵にみる上方と江戸展 1/10～2/5	長崎に来た新風展 2/11～3/4	工芸にみる異国趣味展 3/10～4/8
企画展	朝鮮鐘拓本展 12/10～1/29	古地図企画展 江戸時代の日中交流展 2/11～3/25	
ギャラリー	受贈記念 山下摩起展 1/6～2/5	シルク・ロード写真展 2/7～4/1	

- ・午前10:00～午後5:00(入館は午後4:30まで)
  - ・年末年始／12月26日～1月5日まで休館
  - ・月曜休館(但し1月16日開館、1月17日・18日休館)
  - ・入館料／一般200円(160円) 高大生150円(120円)  
小中学生100円(70円) ( )は30名以上の団体料金

神戸市立博物館



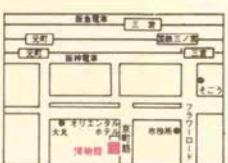
神戸市中央区京町24番地

**☎ (078) 391—0035**

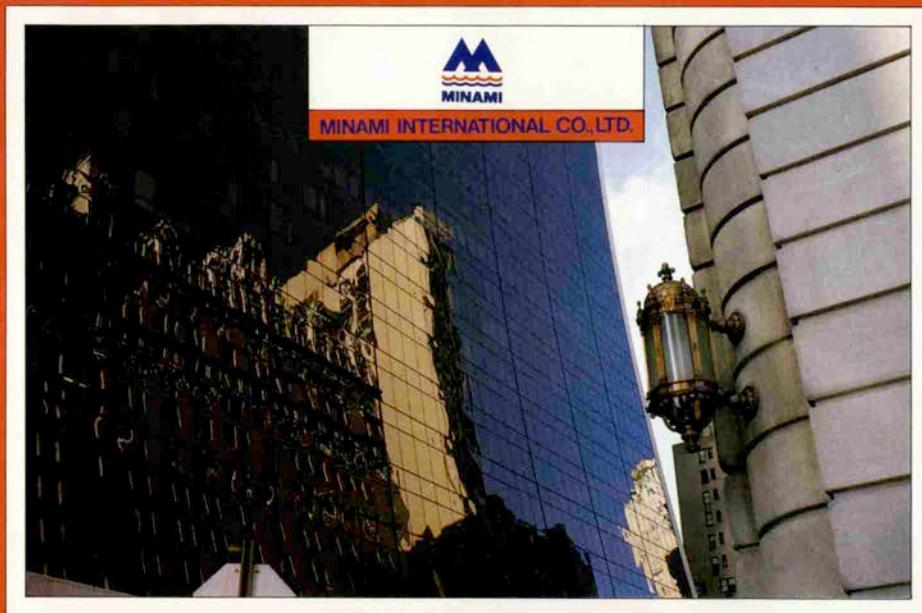
■ 国鉄「三ノ宮」「元町」から南へ徒歩約10分

■阪急「三宮」阪神「三宮」または「元町」から

南へ徒歩約10分



*The Beautiful Harmony of*  
TRADITIONAL & PROGRESSIVE



MINAMI INTERNATIONAL CO., LTD.

NEW YORK / PLAZA 5th Ave. at W. 59th st.  
Photo by HARUHITO MINAMI

'84よりMINAMIは意欲的に国際的活動をつづけてまいります。

株式会社  
南インターナショナル

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 ☎(032)1301



Tajima  
宝飾店 タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

●第八回神戸文学賞受賞  
服部 洋介

はつとり・ようすけ(教員)

# 今、新地平へのティク・オフ

髭面が笑う。「髭は寒い時だけ。暑くなると剃ってしまうし、頭髪も短かく刈りあげるんです。素顔を見せるのが恥しいんですね」。誉められるのも、貶されるのも面映ゆい。かと言つて無視されるのも嫌だ。「僕たちは、『遅れて来た世代』かも分らない。大学時代、全共闘運動はすでに終焉していた。高度成長時代に育つて来たけれど、さて大学を出てみると就職難だつた。何かに熱狂して参加すると言つてが出来なかつたんですね」。焦立ちがある。受賞作『昔の眼』の主人公は先天性の内斜視。子供への遺伝を極度に恐れる。「今までから先天性内斜視にこだわつて、ずっとと作品を書いて來た。が、それは被害者としての立場からです。この作品では、『加害者』として書いてみたんです」。女に、子供が欲しいと言わされて萎缩し、童貞を捨て損なう。傍目には滑稽だが、当人にとっては切実な問題だ。先天性疾患へのこだわりと、遅れた世代などの意識が作品の背骨を形づくる。だが、『昔の眼』へ到るまでの二年間、書けない状態がつづいていた。作品集『黄色い爆弾』を檸檬社から上梓したのが二年前。今回の受賞が、次への弾みとなることを期待したい。昭和29年8月、神戸市生まれ。上智大学英文学科卒業。現在、松蔭女子中・高等学校教諭。ソフトボーラー部の顧問として多忙な毎日。熱烈な阪神タイガースファンでもある。東灘区で妻子と三人暮らし。29歳。



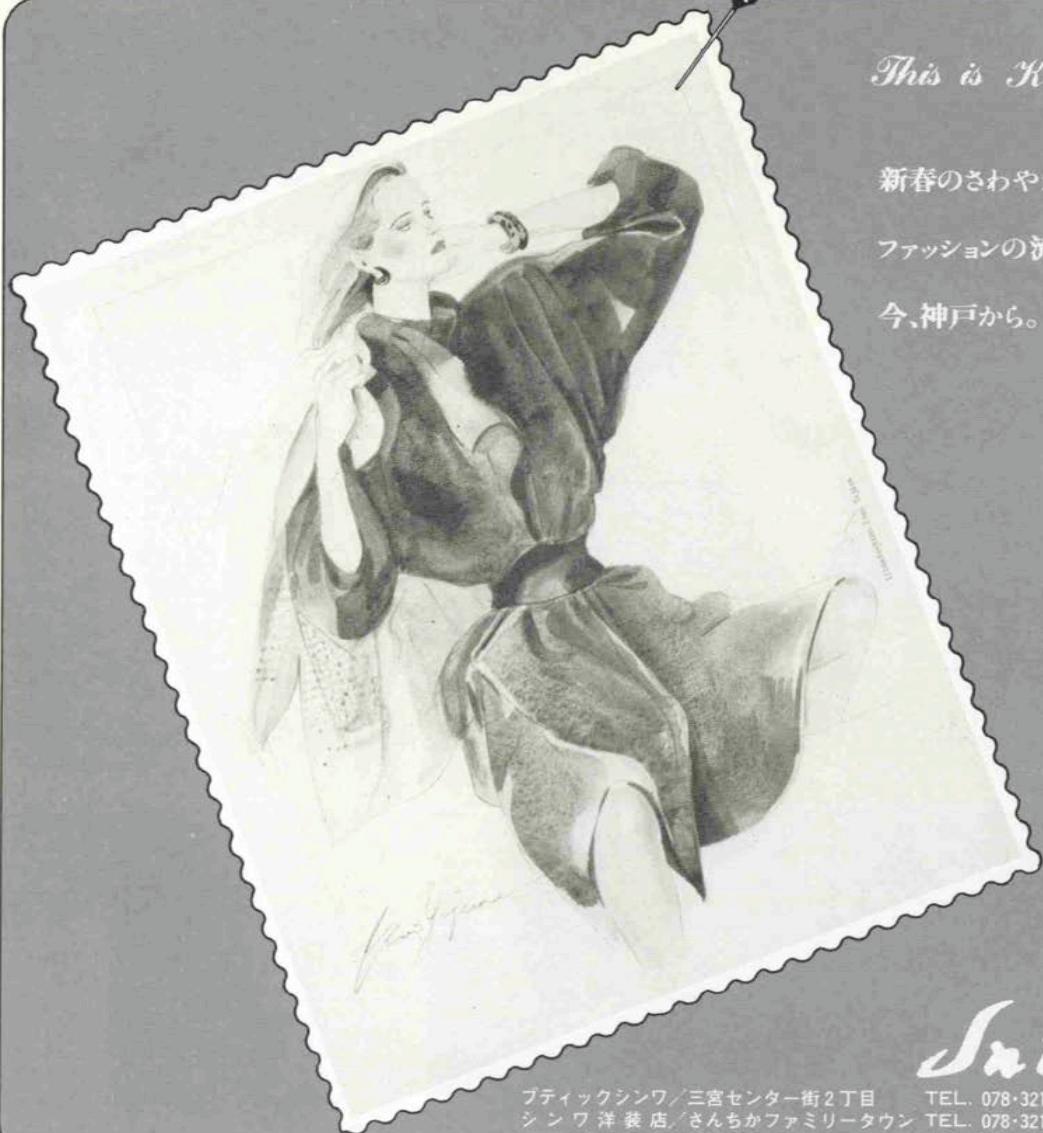
松蔭女子中・高校の校庭にて。カメラ/池田年夫

*This is Kobe .....*

新春のさわやかな風

ファッションの流れは

今、神戸から。



*Sinew*

ブティックシンワ／三宮センター街2丁目 TEL. 078・321・0200, 331・3098  
シンワ洋装店／さんちかファミリータウン TEL. 078・321・5254  
コットンシンワ／須磨パティオ TEL. 078・791・0002

●第八回神戸女流文学賞受賞

菊池 佐紀

きくち・さき

(主婦)

# 書くことの鬼になります



「20年間の空白が、今更に惜しまれるんです。それだけに頑張らなくちゃ、と、自分を励ましています」松山で英語教師をしていました頃、はじめて小説を書いた。21歳だった。昭和25年頃だというから、戦争の傷跡の生々しい時代だった。東京の同人誌『文芸首都』に送った処女作は、狂った姉と弟の近親相姦を描いたものだったから同人評は、「病的、異常」と、惨澹たるものだった。若かつた菊池さんは、この時以来、約20年間筆を折る。

「それからの私は、自分を平凡にしようと一所懸命でした」結婚、出産と専業主婦に徹して、一人娘が嫁いだ時、急に空虚な自分に不満を感じた。人に勧められて、5年前、同人誌『原点』に入り、再び文学にとりくむ。激しい情念の鬼となつて「苦しみながら」書きつづける。今回の受賞作『薔薇の登音』には、モデルらしいものはない。薔薇の花と松山の海をじつと見つめていると、その妖しげな世界の中に物語中の人間たちが勝手にうごめき出したのだと。いう。「私は海と勝負して生きているのだ」という主人公、泰子の言葉はそのまま菊池さんと文学との関わりを象徴しているかのようだ。昭和4年、愛媛県生れ。現在、子規ゆかりの地、松山で俳句に対抗して散文文学振興のルネッサンスを起こそうと有志とともに活躍中だ。酔い潰れたことは一度もない、と笑いながら話す酒豪でもある。

（今治港にて）

鴨居 玲（フアミリー顧問）

女性が人形にあこがれる様に、  
男は何歳になつても、ジープ即ち  
四輪駆動と聞けば血湧き肉踊る氣  
持になるものである。

その機能本位の車に魅せられた  
人達が月に一度位の割合で、一台  
で行けば、とうてい戻れそうもな  
い様な道無き山野へジープを連ら  
ねて自然の奥深くまで入り込んで  
行く。

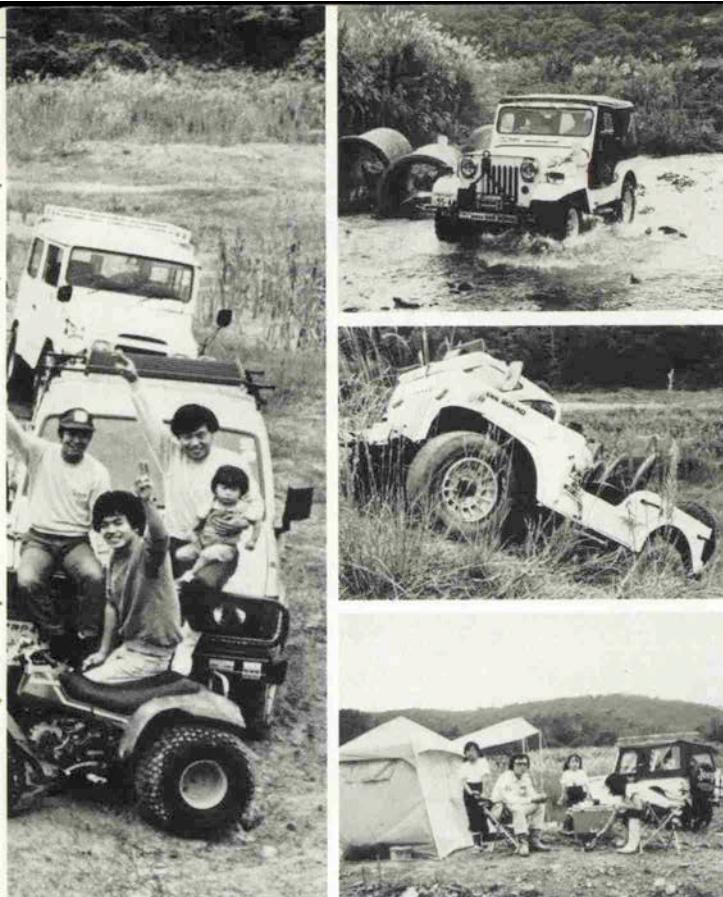
岩に乗りあげて・スタッフしたジ  
ープを押したり、ワイヤーで引き  
上げたりしながらの前進、これが  
またなんともいえない魅力で、働  
き盛りのメンバー達もこの時ばかり  
は、家庭も仕事の事も忘れて、  
夏冬問わずに熱中するのだから、  
彼等の奥さん達も、さぞやその将  
來に不安を感じて居られる事だろ  
うけれども、こればかりは、あき  
らめていただくより仕方なさそう  
である。

甲南大学の自動車部員であった、  
岡本元良君33歳は、とうとうその  
車好きの病がこうじて、同じく甲  
南大学英文科卒業の奥さんと共に、  
ジープ専門の車屋さんになつてしま  
った。用意されたレールの上を、  
何の疑いも持たずに過して行くの  
も人生かも知れないが、少々その  
レールからはみ出しながらも、自  
分の熱中出来る仕事に、その人生  
を賭けてみるのも、それはそれで  
素晴らしい事ではなかろうかと、ひ  
そかに私はこの若い夫妻に拍手を  
送つてるのである。

●ある集い

## 山野を駆け巡るジープ野郎

OFF ROAD FAMILY  
**4x4ROKKO**





吾がクラブの会長は、船屋さんで、大前慶治氏38歳、見事な髪をたくわえ、一見陸に上った海賊と言つた風貌だが、その竹を割つた様な人柄の故か、入会者が増えるばかり、そのクラブ員達の職業は、美容師さん、明石の床屋さん、カーメラマン、モデルガソマニヤの真珠屋さん、お医者さんに学校の先生、そして仕事が全く無いと言つて胸を張る失業中の青年等々、まことに多彩な顔ぶれで、毎月一回、夜のミーティングはまことに楽しい。然しその内容は、世界の一流レーサーも頗負けと言つた自慢話が多い様ではあるが…。

山野を駆け廻るだけではお天道様に申しわけないと若い人達からの提案で山や街を美化しようと始めたクリーン作戦も、今年は従来の枠を越えて、市民にも呼びかけ、三百人程を動員し、灘区、北区の各駅前でゴミ拾い作戦を開き大いに成果を上げた様である。更に若い人達は不足している血液の確保にと、献血キャンペー等も行っている。

ともすれば私達年代の者は、つい口ぐせで、「この頃の若い者達は…。」等と言いがちだが、グループの若い人達を見ていると、その言葉をつてしまねばと、大変嬉しく思つてゐるこの頃であります。

■事務局は次の通り

「4×4 ROKKO OFF-ROAD FAMILY」

事務局 神戸市灘区岩屋中町2-1-6-5

TEL 861-2093 「モト・レーシング」内

*Beautiful eye*  
●わたしとメガネ

新しいメガネで新しい年を

ジャン・メルオー

〈灘カトリック教会司祭〉

牧師がかけるメガネというのはこの服装にマッチしないといけませんのでとても難しいのです。

あまり派手でなく、シックで、それでいて品もよく、少し威厳もいりますし、また優しさも必要なのです。

服部メガネさんは、それにちょっとおしゃれな感覚も添えて私の思った通りのフレームを選んでくださいって、しっかりと検眼して下さいました。

新年を新しいメガネで、心よく迎えることができました。



服部メガネ

神戸・大丸前 ☎(078)331-1123



除幕される原口忠次郎顕彰碑

新谷英夫さんに感謝状が

原口忠次郎顕彰会  
記念

笑顔の胸像

神戸の戦後復興と発展に功績のあった故原口忠次郎元神戸市長をたたえようと、顕彰碑の建立が進められていたが、11月12日ポートアイランド原口記念公園でその除幕式が行われた。原口忠次郎顕彰会（中井一夫会長）が募った基金により、彫刻家新谷英夫さんが制作。坂井県知事ら350人が見まもる中、笑顔の胸像が披露された。

## ●原口元神戸市長をたたえて “笑顔の胸像”がポーアイに

### ●コウベスナップ



## ●ローズガーデンがギャラリーに変った一週間 ローズガーデン美術公募展

11月21～27日、北野ですっかり定着したローズガーデン美術公募展が開かれた。今回で7回目を迎えた同展は年々作品の質も向上し、審査員諸氏も嬉しい悲鳴をあげている。今回の大賞には大阪市の弓場祥子さんの「Pake-ge」、特勧賞には同じく大阪市の田村隆さんの「STAND-cross in cloth」(共に立体)が選ばれた。

表彰状を受ける弓場さん

弓場さんの作品「Pake-ge」



カラフルで新感覚あふれるショーが

## ●第11回コウベファッショントークンショーオン開催

### ミナト神戸を彩り華やかに

「コウベファッショントークンショーオン'83」のフィナーレを飾る第11回コウベファッショントークンショーオンが、11月26日国際会館大ホールで開かれた。デザインコンテストの入賞作品をはじめ、KFC、KFAなどのオリジナルコレクションが次々と発表され、カラフルで新感覚あふれるショードとなつた。

# エトランゼの 輪郭 23

## 須田 剎太

1906／埼玉県生れ 1939, '41, '46／日展入選 '57／ブラジル・サンボーロ・ビエンナーレ展出品 '59／アメリカ・ヒューストン美術展出品 '60／イタリア・ブレミオ・リゾネ展出品、アメリカ・ピツバーグ・カーネギー展出品、'65／西宮文化賞、'74／兵庫県文化賞、'77／大阪文化賞受賞、'81／原画集「街道をゆく」出版、'82／講談社挿絵文化賞受賞

### インド人、ナリンダ・S・ワスさんを描く

神戸っ子の外人を描くシリーズを編集部からたのまれた時、顔が立体感のある造型的に描きよい人をつれて来て下さいよと申し入れたのですが、数日後つれて来て下さったのがインド人、ナリンダ・S・ワスさんでした。

一眼見た瞬間、其のひげと言い、頭のターバンと言い、顔の色と言い、全く素晴らしい造型美に感動しました。其のわりに、絵は、どうもうまく行きませんでしたが…。ワスさんの人格は素晴らしい聖者——ガンジー や タゴールを思い浮かべたい程の素直な方で、日本に来てもう四十年、日本語もペラペラで、尼崎に住んで、最近自分の私道を周辺道路の方々に寄附されたとか。関西日印文化協会の終身メンバーでもあり、私はこういう人とかりそめの出会いで関係出来た事を心から嬉しく思いました。



モデル／ナリンダ・S・ワスさん(インド)



ナリンダー・S・ワス氏像  
(水彩)

1983年